

あすの農業を語る

うまい米づくりで 危機を乗り切ろう

米の加工を 考えよ

農業の機械化は……

労働力の確保はこんごますます困難になります。南園市はむかしから全国にさががけ農業の機械化に熱心ですが、田植え機やバインダーなどの取り入れは他県より遅れています。

これからは田植え機から調整まで、すべて機械化し、労働時間をいままの十分の一にするように取りかかれば、それら大型でなければ軽減になりません。

車を買ったがは場にゆけないといったようなことでなく、市は農道の整備を急ぎ、機械化を促進してほしいものです。労働力の軽減によって、農夫病から農民を守るべきです。

農夫病はむかしからのもので決して新しい病気ではないが、研究が遅れています。三和では農家の健康手帳をつくり、医師が診察、治療の状態を記入することによって、健康の課程を手帳でわかるようにしています。

大型機械化はかれ

ありあまった政府米で、米の問題は大きく叫ばれるとともに、稲作転換の云々が話題にされるなど、いよいよ農家にも赤ランプが灯されました。

この稲作問題を中心に、あすある農業へのあり方を真剣に考えておられる人たちのうち、徳永市議、横山農業指導所長、田内三和農協専務、吉田大篠農協指導員、若き農業経営者の岡浩之(才谷)、奥田昭弘(田村)両君ら六氏を招き話してもらいました。



◇ これからの農業、とくに稲作をどのように考えますか。

米作を維持するためには、農機具などの投資的経費がかさむので、牧草などの契約栽培や、小作に出すなどして二、三年後には米作を止め養鶏専門に切り換える考えでいます。

米作の転換が叫ばれ、それになるものについて問合せがありますが、まだ農協としてもこれから取り組んでゆかなければならない状態です。

◇ 農業の動向は労働力の問題もからんで専業化されてゆくでしょう。

しかし、基本はやはり米作にあるといえます。米作を守り育てるためには農協に機械設備を徹底してゆくべきで、ことは田植え機、コンバイン導入、大型のモミの乾燥設備を農協へ設備し、調整、精米まで行なう計画を立てています。

ことしの自主流通米は、米穀業者のみ取り扱いますがゆくゆくは農協でも取り扱い、生産者

農協ストアといった米の流通機構を確立し、箱詰めライスや中間業者の手を経ずに直接ストアの店頭へ出すことを計画しています。

◇ 二十き、四十円といった野菜では肥料代にもこと欠き、作付け転換といつてもおいそれとは考えられず、奨励された「みかん」もいまや生産過剰で、これからの望みはもてません。

米食のみを考えて米作りはいけないというものはおかしい。むしろ世界で一番優秀な主食といわれている米の加工を考え、別の食品にすることを努力してほしいものです。

一般にうまくないといわれている「フジミノリ」も、決して悪い品種ではなく、うまくないという原因は検査基準にありま

す、他県では含水率十六割から十七割の軟質米の基準ですが、高知県は十四割以下という硬質米の指定を受けています。

将来実施する箱詰めライスは十七割程度の軟質米でよく、密封するので、他の品種に混ぜ合せということはできず、食味もよく、保存もできます。

大型機械は協業で 米を買う百姓も

むにしが、一町と五反とはあ

◇ 指導所の本年度の指導目 標は、指導所の本年度の面積は、これまです。水稲であれば、これまでの構造改善地区では、三、四反の区画ですが、現在は一町の広さの長方形がよいといわれています。

◇ 理想的な、一画場の面積は、営農体系で面積は違ってきた。水稲であれば、これまでの構造改善地区では、三、四反の区画ですが、現在は一町の広さの長方形がよいといわれています。

と整備ほ場

あすの農業を語る

◇ 指導所の本年度の指導目 標は、指導所の本年度の面積は、これまです。水稲であれば、これまでの構造改善地区では、三、四反の区画ですが、現在は一町の広さの長方形がよいといわれています。

耕作で成功しているところもあり、そのようなしくみからさせた共同栽培や、施設園芸の施設の集約化と現地指導の徹底をはかることを目標にしています。

あすの農業を語る

◇ 二期作であることが、大型機械化を阻害しています。現在、労力を少なくし、豊かにすることを総合的な見地から考えてみるべきです。

右上 農夫病を遠放す ためにも、田植え機を……



左下 これは大型機械は入りません。

ほうらしいといった打算的なことと兼業農家の増加によって、共同作業は失われてきました。

◇ ところで、大型機械農業を実現するためには、協業が必要で、そのための協業は、機械化と協業体勢をすすめてい

ます。バインダーや大型農機を個人がもつのは引き合いになりません。

組織整備を 考えよ!!

◇ 農協はなにを しているか、といわれる原因は、利権を争むことに力を入れているからです。しかし、耕植機の導入や指導所とともに

行なった営農改善で、反当収量が増加したこと、農民の意欲にもよりますが、農協の営農指導の一助もありません。

◇ 従来から市に営農改善会があるが、市、農協、農協指導員、農委、指導所の四者によって、月例会を開き、営農のあり方を討議し、指導方針を決めています。

◇ 農協合併の見通しは、どうですか? 農協事業が多方面にわたったり、農協米のたから逸脱した面もあり、農協は農民のもので、組合員の営農、生活、経済の向上を考えてゆくべきものです。

◇ 農協合併にはいろいろのあい路や曲折があつて、市全体を一つにする話し合いは、まのこころすめられていません。

◇ しかし、段階的な合併の見通しはあります。それは、事務的体系的似かよっている瓶岩、久礼田、国府、岡豊、上倉の五農協の合併の話し合いがすすんでおり、合併は時間の問題となつてい

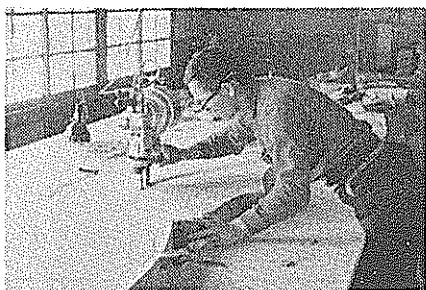
ます。◇ 大同合併を阻害しているものに、サービスマンの低下、組合体質の相違や有線放送のもつれなど、また、恵まれている農協の多いことも合併のすすまない原因となつていきます。ところで、(四面へつづく)

縫製工場操業始む

前浜小跡へ誘致

統合によって、不用となった旧前浜小学校の校舎の一部を利用して、市が誘致しました縫製工場が、このほど操業を始めた。

こんど誘致された縫製工場は、愛媛県に本社を持つ玉川縫製株式会社（益田社長）でかねてからあった地元の人たちの強い要望に応じて、地域住民の所得向上と人口流出防止に役立たせようとして



写真—大がかりな裁断で

市が数社のなかから、厳選のうえ誘致に成功したもので、一昨年久礼田中学校跡に誘致しました内外物産（東洋敷物）とともに期待されているものです。

農産加工や

営農団地の造成を

協定は、農協の合併による組織整備は重要なポイントを占めています。

▼ 恵まれた組合幹部は「市全体では大きくなりすぎ、しかも弱い農協に食われることになり損をしても益することがない、だから合併はしなくても」と消極的で、一般組合員との討論の機会は少なく、とくに次代を背負う、若い農民の声を反映さず農

工場をもち、機械化によって省力された家族の労働力を加工面へまわすべきです。

▼ 農協の役割として、当然販売と加工に取り組みを持つべきで、加工は一つのものだけでなく、水産物も取り入れた多角的なものにし、年中操業を考慮すべきです。

工場をもち、機械化によって省力された家族の労働力を加工面へまわすべきです。

▼ 農協の役割として、当然販売と加工に取り組みを持つべきで、加工は一つのものだけでなく、水産物も取り入れた多角的なものにし、年中操業を考慮すべきです。

一年後には

二百人に増員

同工場は、高知工場（吉田俊三工場長）として経営され、アメリカ向け、輸出用の婦人スラックス、スカート、ブラウスなどの裁断から縫製、プレスまでの作業を行なうもので、現在五十五台のミシンを備え付け、地元の主婦など四十人が働いています。同社では、一年以内には従業員を百五十人から二百人に増やし、工場の拡張はもとより、寄宿舎、託児所などを併設する計画もあり、そのため、現在、従業員の募集



一つ一つアイロンがかけられ

▼ 現在のよような消費市場ではなく、生産者市場をつくるなど、販売面の改革をはかるべきで農家も農協を通じて販売するようになることが大切です。

▼ これからは六百万円—一千万円をあげる農家でなくてはなりません。そのためには、二、三町を耕作し、できれば畜農業をやるべきです。

▼ 十年、五十年後の課題を考慮してゆくべきで、そのためには経営の実態を把握してゆか

を行なっています。

入社を希望される方は、工場を見学の上で面談されるか、電話五—八六二〇、有線三三三〇へ直接お問い合わせください。

待遇は、初任給で月給六百円（経験者は優遇、年二回昇給）賞与二回のほかに、精、皆勤賞、通勤手当、各種社会保険制度もあります。

勤務は、午前八時二十分から五時十分まで、八時間労働、週休制で制服が支給されます。

また、遠隔地からの勤務者の人員がまとまれば、マイクロボスでの送迎も予定されています。

理髪館の休日変更

6月1日より月の第1日曜日
第2週以降は従来どおり月曜日を休日としました。

—南国市理容師会—

あすの農業を語る